

製品名: ドルフィンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10119**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	90kDa

抗原情報

遺伝子名	RNF19A
別名	RNF19A; RNF19; E3 ubiquitin-protein ligase RNF19A; Double ring-finger protein; Dorfin; RING finger protein 19A; p38
遺伝子 ID	25897.0
SwissProt ID	Q9NV58
免疫原	抗血清はヒト RNF19A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 51-100

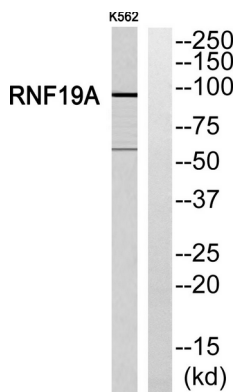
背景

この遺伝子は、RBR（リングフィンガー間リング）タンパク質ファミリーのメンバーをコードし、コードされるタンパク質には 2 つ

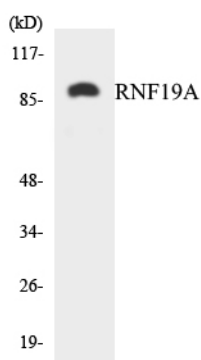
のRINGフィンガーモチーフと1つのRINGフィンガー間モチーフが含まれています。このタンパク質はレビー小体に局在するE3ユビキチンリガーゼであり、ニューロンにおいて α シヌクレインの相互作用タンパク質であるシンフィリン-1をユビキチン化します。このタンパク質は、筋萎縮性側索硬化症およびパーキンソン病に関与している可能性があります。選択的スプライシングによって、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq提供、2013年7月]、機能: E3ユビキチンタンパク質リガーゼは、E2ユビキチン結合酵素UBE2L3およびUBE2L6からチオエステルの形でユビキチンを受け取り、SNCAIPやCASRなどの標的基質に直接転移します。病原性のSOD1変異体を特異的にユビキチン化し、プロテアソームによる分解とニューロンの保護につながります。経路: タンパク質修飾; タンパク質のユビキチン化。PTM: DNAが損傷すると、おそらくATMまたはATRによってリン酸化されます。類似性: RBRファミリーに属します。RNF19サブファミリー。類似性: 1つのIBR型ジンクフィンガーを含みます。類似性: 2つのRING型ジンクフィンガーを含みます。細胞内局在: 筋萎縮性側索硬化症患者の運動ニューロンに特異的に見られる硝子封入体に存在します。パーキンソン病患者のニューロンに特異的に見られるレビー小体に存在します。サブユニット: UBE2L3およびUBE2L6と相互作用します。転写因子Sp1と相互作用します。VCP、CASR、SNCAIP、および筋萎縮性側索硬化症を引き起こす一部のSOD1変異体と相互作用するが、野生型SOD1とは相互作用しない。組織特異性: 広く発現しており、心臓で最も高い発現レベルを示す。中枢神経系では普遍的に発現する。、

研究分野

画像データ



RNF19A抗体のウェスタンブロット解析。右レーンはRNF19Aペプチドでブロッキングされている。



RNF19A抗体を使用したJurkat細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。